

議会報告会報告書

平成25年8月12日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

B班

代表 大井淳一郎

平成25年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成25年7月22日（月） 19:00～

2 開催場所

須恵公民館

3 参加人数（市民）

15 人

4 担当班議員名

（ 大井淳一郎 ）（ 中島好人 ）（ 小野 泰 ）（ 松尾数則 ）
（ 山田伸幸 ）（ 中村博行 ）（ 河野朋子 ）

5 報告会次第

- （1） 市議会議長挨拶
- （2） 6月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
- （3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 6月14日の委員会で厚狭地区複合施設整備費をゼロにする修正をしているが、その時点で「中山間地域づくり総合支援事業補助金」が失効することを承知していたのか。

[回答]

当該補助金については来年度も申請できるという答弁があったので、いったんゼロ修正した。その後、来年度の申請ができなくなる可能性がでてきたために、最終的に全額を予備費へ計上する旨の修正をした。

- ② 全額を予備費に回すのではなく、可決したうえで附帯決議をつけるなどの手法もあったのではないか。

[回答]

そういう手法も考えたが、現時点で市民合意が得られていないことを重視し、予備費計上という手法をとった。

- ③ 市民合意も大切だが、財源など他の要素を勘案すべきではないか。金額を含めて市民とのギャップを埋めていくことも議会の役割ではないか。

- ④ 何をもって市民合意とするのか、早い時期に議会が市民合意を得る努力をすべきではないのか。妥協点を見出すことが大事である。

- ⑤ 介護者に対する地域の見守り・支え合いをどういう風に図っていくのか。

[回答]

アンケート等をもとに実態把握をした後に、具体的な施策を進めていくことになる。

- ⑥ 企業ガイドブックが単に市内の実態を示しただけものではないか。内容について精査すべきではないか。

[回答]

企業誘致にも結び付くガイドブックにしたいと考えている。

- ⑦ デマンド交通も含め、今後の公共交通のあり方についても検討すべきではないのか。

[回答]

委員会としても継続的に審査していく必要があると考えている。

- ⑧ 企業誘致特別委員会はどんな活動をしているのか。活動実態のない委員会を残す必要があるのか。協議会に変えてはどうか。
- ⑨ 9月議会は決算が審査される。改選後にメンバーが入れ替わるが、9月議会もこれまで同様に議会報告会をしてほしい。